

自治会 あつぎ 記念号

目 標
◎みんなの手で育てようあすの自治会を
◎地域づくりは市民の民主的・自発的な活動から
◎行政と共同で築く豊かな文化
発行 厚木市自治会連絡協議会
編集 自治会連絡協議会広報部会
電話 046-225-2101

自治会の皆様お元気ですか。自治会あつぎも今回で50号となり、第1回発行の昭和55年より25年経過いたしました。この間、自治会の機関紙として歴代会長の挨拶や事業報告、単位自治会の活動状況等が報告され、皆様に周知されたことはその時代毎の役員のご苦労とご協力に厚く感謝申し上げます。今回50号の記念号として頁数を増加して各地区の特色ある活動など、紹介する記事内容に工夫を加えてみましたので、ご講読ください。

さて、自治会活動の基本は、地域毎に市民がお互い協力して平和で幸せな楽しい生活を送るための諸活動に取り組んでいく事にあります。即ち、向う三軒両隣近所同士の助け合い協力から始まって、各組(班)各町内毎に確立した組織の中で諸活動を進め、又行政当局とも協力して車の両輪の如く対応していく中で、良い地域社会が確立できるものであります。今自治会が重点活動として取り組んでおります安心安全のまちづくりの防犯活動防犯パトロール、子供達の登下校時の安全を見守る愛の目運動への参加、何時起こるか分からない地震への防災対策の取組み、環境問題でもあるごみの分別作業や紙ごみゼロ運動など定着して大きな成果も上がっております。

更に、街中の不良掲示物の撤去や落書きの消去等の美化活動も積極的な取組みが大切です。又地域の運動会、餅つき大会、カラオケ会等々の地域活動、ミニデーや高齢者慰安行事等の地域福祉推進活動等々自治会の活動は範囲も広く対象も地域の老若男女全員です。この様な多くの活動を遂行することなく地道に取り組んで定着させていく必要があります。そのためにも自治会員の皆様の尚一層のご理解、ご協力をお願いする次第です。この様なことが出来て初めて住んでよかったまち、住んでみたいまちづくりが出来ると思います。



住んでよかったまちづくりは
自治会活動の活発化が前提です
厚木市自治会連絡協議会
会長 井上 昇

また、最近マンション、アパート等が増加し、これらの居住者の方々の自治会への加入が少ない事が指摘されておりますが、災害発生時の救助や援助物資の配分等は自治会が基本です。未加入者の救助救済等の遅れが懸念されますので、加入の促進が急がれます。即ち、市民全員が自治会員として楽しく幸せに住んでよかったと実感できるまちにしたいものです。

最後に、各自治会の益々の発展と自治会員の皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

自治会長研修視察

甲府市自治会連合会との意見交換

南毛利地区自治会連絡協議会

会長 菊地 清

梅雨の中休み、早朝より晴天に恵まれ7月4日7時30分文化会館を出発、一路山梨へ、甲府南インターより20分、甲府市環境センターへ到着。10時より大会議室にて甲府市自治会連合会との意見交換を行い、15項目の質問に回答を得た。その内の主な3項目を紹介させていただきます。

(1) 自治会組織について。甲府市は、古い歴史と美しい自然に恵まれ栄え、全国4番目に市に昇格し、現在人口約20万人山梨県の23%を占める。自治会数523と多く、自治会平均140世帯と規模は小さい。自治会加入率は、厚木市の71.8%を上まわるところも有り、建設を望んでいた。(2) 自治会未加入世帯について。非定住性から学生アパートや管理組合のあるマンション等は未加入が目立っている。又高齢化等により活動に参加困難であったり、人付き合いが面倒などの理由で未加入の場合もある。未加入者の主なトラブルとして、収集日以外のゴミ出しや分別回収しな

い等が上げられた。自治会活動を周知し、住民意識の向上促進に努め、加入を呼び掛けたい。

(3) 防災対策について。厚木市には、ぼうさいの丘公園があり、甲府市に比べ一歩進んでいると感じた。

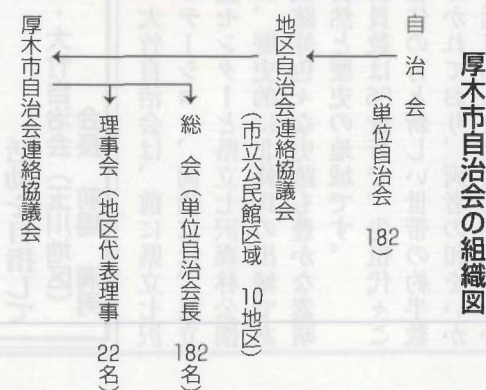
会談後、甲府市環境センターのビデオ説明があり、実際に一時間見学、センターは平成8年竣工、日本で十指に入る最新設備が整っている。センター内は破砕工場と焼却工場に別れ、再生资源の回収、ゴミの減量を図っている。万全を期した公害防止対策が採用され、施設から二次公害の発生がないよう衛生的で効率の良い処理ができる設備となっている。センターの周辺には住宅や病院もあり安全であることが伺えた。厚木市も、難しい土地問題をかかえているが、話し合いが進み一日も早くこのような新しいゴミ焼却施設を建設される事を望む。

帰路、恵林寺を訪れ遠い昔の甲斐の国に思いをはせ、研修は有意義に終わった。



創刊号発行当時の組織状況

(昭和55年11月15日)



自治会加入状況

市内各地区自治会の加入状況は次のとおりですが、全体の加入率は98.3パーセントで、組織規模については、最大920世帯、最小20世帯、平均では214世帯となっています。

地区名	加入世帯数
厚木北	4,311
厚木南	3,426
依知	3,783
睦合	7,287
荻野	4,880
小鮎	1,908
南毛利	7,970
玉川	739
相川	2,558
緑ヶ丘	2,219
計	39,081

厚木市全世帯39,741世帯 (98.3%加入)

編集後記

関係者のご協力により、ここに自治会あつぎ第50号の記念号を発行することができました。各地域の自治会活動が先人のご努力により、今日まで脈々と受け継がれて参りましたことに對しまして、改めて敬意を表します。

今回は、第50号を記念し紙面を充実して各地区活動の取り組みや各地区の様子(特色やイメージ)を地区旗で紹介する紙面構成にしてみました。今後も、地域住民が住みやすい生活環境を、より活発化するための情報紙として、皆様方のお役に立つことを願っています。(広報部会一同)

「地域の輪が広がる」
高坪盆踊り大会
高坪自治会(南毛利地区)
会長 小城 勝明

「孟欄盆」の夜に、精霊を迎え慰めるイベントが「盆踊り」であるが、近年は、地区の人たちのコミュニケーションの場、ふるさとの思い出作りに華が咲く盆踊り大会になってきている。今年も、高坪連合自治会主催の盆踊り大会が7月22日(土)に実施された。この時期は梅雨の最中で今年は、大会すら危ぶまれたが、曇り空の櫓作りも職人衆や組長さん達の熱意で無事完成。いよいよ本番の22日待たせばかり。しかし、雨、雨、雨の毎日。ところが、1週間後の当日は、なんと薄日が差し込んでいます。ありませんか。当日は、午前10時から、女性部によるおでんの仕込み開始、午後からは、櫓の飾りつけ、提灯付け、野球部員による焼き鳥、カキ水の屋台が完成。育成会・子ども会、ドッチボール会員らによる模擬店(焼きおにぎり・フランクフルト・ヨーヨー等、縁日並みの夜店が続々)の開店が待ちどおしい。生ビール・おでん・金魚すくいも自治会が運営。蒸し暑さが似合うのが盆踊りだが、ちようど良い気候だと発言したら、皮肉にもカキ水店・ビール店からは「売り上げに影響するよ」と怒られてしまった。...

広報車は、地域住人の呼び込みに発



地域で盛り上げる盆踊り大会

進。交通安全母の会・指導員・消防団は安心安全確保に専念。模擬店開始後は、子どもや保護者の人達で何処も、長蛇の列、列、列：午後7時、大太鼓の音に合わせ盆踊りがスタート、女性部・婦人部の踊りの指導で輪も一重から二重に広がり、会場には、600名余の人達で、踊りの先生達も踊りづらそう。何せ手を広げると他の人に触れてしまう、会場が狭くなったようだ。(鮎まつりの曲は踊りやすい、総務が踊る相馬盆踊りは、ちよつと見られませぬね。福舞体操良かった等々)

閉会后、名残り惜しい「ふるさと祭りの思い出を胸に」子どもや孫、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、又来年この場所でお会いしましょう。各役員・団体さん本当にお疲れ様でした。(因みに、次の日は大雨でした)

「和を大切に、思いやりのある活動を目標として」
門口・大竹自治会(玉川地区)
会長 前場 満男

門口・大竹自治会は、前に県立七沢リハビリテーション、両横には、県立自然保護センターと県立七沢森林公園に挟まれ、歴史的に北條氏の山城である七沢城跡等色々な史跡も豊かな素晴らしい自然と歴史の地域です。自治会員数は86世帯で、先祖代々この地に在住の方と新しい世帯の約半数づつに分かれており、両者の和をいかに作って活気ある自治会活動にするかが大きな課題であります。この地域は、昨年度に地域再生モデル地区に指定され今後10年の歳月をかけて子供達や孫達、他の地域社会に誇られるような活気溢れる地域づくりをしなければなりません。「豊かな自然散策の里 七沢」のキャッチフレーズのもと、古民家建設、森林セラピー・健康づくり大学、カボス植樹、ハイキングコース整備、里山づくり、食文化村等七沢の地域の特色を生かして地域を繁栄させなければなりません。自治会員も全員一丸となってモデル地域づくりに取り組みでいこうと行動しているところです。また、七沢では、昨年防犯モデル地域として色々と活動いたしました、本年度は、玉川地区全体でモデル地域に指定され、我が自治会は11月が当番



自治会旅行でのなごやかな一日

月となり各種の防犯活動に取組んでおります。また、「八・三運動」にも取組んでおり、八とは、8時前後(7時半~8時半)、三とは、3時前後(2時半~3時半)を、防犯重点取組み時間とし、この時間帯には腕章、セイフティベスト、帽子を着用し出来る限り地域全体を見廻り子供達や孫達が安心・安全で通学や遊べるように取組んでおります。朝の交通事故防止のため横断歩道で交通指導も子供会と協力して実施しております。自治会の和を大切にするため各種会議内容は回覧し、情報の共有化も図っております。自治会の旅行は毎年実施し、また、自治会独自で9月に敬老会を開催し先輩達を敬っております。このように自治会活動の充実に努めておりますので、今後もご協力を宜しくお願いいたします。

写真で語る 地区活動の取り組み



自然に親しむ集い

高齢者を対象にウォーキングで桜の花見をし、昼食の後、演芸の部で全員合唱のフィナーレ



住民の防犯意識向上のため犯罪防止決起大会を毎年開催



50周年事業としてまちづくりシンボルマーク花壇を作成



夏の夕、依知北10自治会合同盆踊り、8回目となりました



高齢者お楽しみ昼食会
(人形浄瑠璃林座公演)



大勢の人出で賑わった市制50周年記念「睦合北地区夏まつり」